

令和6年度【森林利活用】地域おこし協力隊スキルアップ研修

1. 趣旨

委嘱後一定期間活動してきた地域おこし協力隊員が、任期終了後の地域への定着を見据え、活動内容や方針を整理する機会とする。より分野に特化した具体的な学びや繋がりを創出するため、林務部と共催し各地における森林利活用の取組を推進するため、一つの手法である「クラウドファンディング」の効果的な実施方法を学ぶ。また、地域おこし協力隊同士の情報交換等を通じて取組の横展開と課題解決を検討するための研修交流会を開催する。

2. 日時・方法

＜オンライン事前研修＞ 令和6年7月 18 日(木) 13:30～16:00

＜現地宿泊交流会＞ 令和6年9月 12 日(木) 10:30～17:00 - 13 日(金) 9:00～12:00

3. 対象及び参加者数

地域おこし協力隊員 33 名(オンライン:18 名／現地宿泊交流会 15 名)

4. 内容

テーマ「信州の森を活かした協力隊事業とは？/協力隊向けクラウドファンディング活用」

＜オンライン事前研修＞

- ・森林利活用事業説明
- ・「HIOKOSHI」に関する説明
- ・クラウドファンディング活用概論体験談、企画立案体験説明会

講師：㈱CAMPFIRE 大堀悟氏 / 上松町協力隊 OB 小林信彦氏

＜現地宿泊交流会＞

- ・森林利活用事業説明
- ・参加者活動事例共有会
- ・クラウドファンディング企画立案発表会(5 名)
- ・起業に向けたプレームワーク
- ・交流会、フィールドワーク(赤沢自然休養林)

講師：㈱CAMPFIRE 大堀悟氏 / 上松町協力隊 OB 小林信彦氏

開催場所：上松町ひのきの里総合文化センター

＜当日の様子＞



5. 参加者からの感想・意見（参加者アンケート結果より）

- CF の具体的なことが聞けて、チャレンジのハードルが下がった。また、ワークショップも自身の考えを整理するための参考になった。
- クラファンにチャレンジしたい協力隊、そしてそれを支援するサポーターと知り合い様々な話を聞くことができ、大変勉強になりました。
- 私は感覚（感情）的に物事を見て取り組むことが多いので、講師の小林さんの論理的な考えの整理の仕方や、ボリさんの勢い、発想、的確なアドバイス（言葉の選び方）に感銘を受けました。協力隊3年目にして、やっと自分のやりたいことに手を付けられ始めた時期にお2人に助けていただけたことで、具体的にアクションが進み、身になりました。このような研修の機会をいただき、ありがとうございました。
- クラファンにおいては、地域への理解、周知の仕方を今後に生かしたい。また、森林利活用に限らず、様々な分野の隊員に出会うことができたのもよかった。一人一人とかなり濃く話ができたとと思う。
- 今回は林業×クラファンというテーマでしたが、今後は業種に関わらずクラファンを経て起業をしたいという協力隊が増えるよう、県より継続的に研修などの形でサポートがあると嬉しいです。
- 似たような課題や取り組みをしている他地区の隊員とも交流をもつことができ、参加して良かったです。

（ 以 上 ）